

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一

平成 29 年 4 月 21 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

ボルタレンゲル 1 % (整形外科) 【院外限定】

薬効： 経皮鎮痛消炎剤

申請理由： 抗炎症薬を主成分とする経皮吸収型の製剤。飲み薬や坐薬として汎用されているジクロフェナクを、新たに経皮吸収型製剤として開発したものの。湿布かぶれを生じる患者に使用。

採用中止薬剤： なし

リアルダ錠 1200mg (消化器内科) 【院外限定】

薬効： 潰瘍性大腸炎治療剤

申請理由： メサラジン (5-ASA) の徐放製剤。有効成分のメサラジンだけが腸内で溶けるように改良。pH依存性徐放剤であり、pH 7以上になる大腸に到達してからメサラジンを放出。大腸で集中的に作用するように製剤設計されている。持続性にも優れ、服用回数は1日1回。

採用中止薬剤： なし

リンゼス錠 0.25mg (消化器内科)

薬効： グアニル酸シクラーゼ C 受容体アゴニスト

申請理由： 便秘型の過敏性腸症候群を適応症とする国内唯一の薬剤。腸管粘膜に直接作用。体内には吸収されないため、安全性が高く、副作用の少ない。

採用中止薬剤： ペグイントロン

エルネオパ NF 1号輸液/2号輸液 (1000mL 袋) (消化器内科)

薬効： 高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・微量元素液

申請理由： 改訂された欧米ガイドラインに準拠するよう既承認の同1号、2号輸液からビタミンB1、B6、C、葉酸を増量し、ビタミンK1、鉄を減量した製剤。

採用中止薬剤： エルネオパ1号輸液/2号輸液 (1000mL 袋)

フィコンパ錠 2mg (脳外科センター)

薬効： 抗てんかん剤

申請理由： AMPA受容体拮抗薬に分類。他の抗てんかん薬とは効きかたが違うため、難治性てんかんに対する新たな治療選択枝として期待。標準的治療薬のカルバマゼピン (テグレトール) やバルプロ酸 (デパケン) と併用することが多い。1日1回就寝前投与の錠剤。

採用中止薬剤： ガバペン錠 300mg 【院外限定】

エムプリシティ点滴静注用 300mg/400mg (血液内科)

薬効： ヒト化抗ヒト SLAMF7 モノクローナル抗体

申請理由： レナリドミドとデキサメタゾンの2剤併用による標準療法で十分な効果が期待できない再発・難治性の多発性骨髄腫に対し、エムプリシティを加えた3剤併用で用いる。エムプリシティがSLAMF7に結合すると、NK細胞が認識するためのタグとなり、エムプリシティのFC領域とNK細胞上のFC受容体が結合し、NK細胞による抗体依存性細胞傷害(ADCC)が誘導され骨髄腫細胞が死滅する。

採用中止薬剤： なし

② 区分変更医薬品

【患者限定】 → 【本採用】

ノウリアスト錠 20mg

トレリーフ錠 25mg

ニュープロ パッチ 4.5mg/9mg/13.5mg